

# 大型図書紹介記事

【様式3】

選定年度	所属学部	氏名	大型図書タイトル	紹介記事
2023	文学部	池末 陽子	19世紀後半のアメリカ文化の中心雑誌『センチュリー・マガジン』 <i>The Century Illustrated Monthly Magazine</i> . Vols. 1-120/#2 (1870-1930). all publ.	<p>1880年代の上流階級の読者を対象とした、<i>Harper's</i> や <i>Atlantic Monthly</i> に並ぶ19世紀後半のアメリカ文化の中心となった雑誌で、米国で最初に発行された挿絵付きの月刊誌でもある。マーク・トウェイン、ヘンリー・ジェイムズ、ラルフ・ウォルド・エマーソン、ヘンリー・デビッド・ソローなどのアメリカの文豪が寄稿しているほか、ジュール・ヴェルヌ、ロバート・ルイス・スティーブソンなど、ヨーロッパの人気作家たちも数多く作品を発表しており、当時アメリカに入ってきたヨーロッパ文学の潮流も知ることができる重要かつ貴重な資料である。19世紀後半から印刷技術が向上し、20世紀初頭には広告料の売上もあって雑誌販売数が格段に伸びた。テレビも一般人には手に入らなかった時代には、雑誌や新聞を通じて情報が発信されていった。当時の人々が娯楽および情報源として読んだ雑誌を紐解いていけば、当時の文化や社会背景に直接触れることができる。欧米の文化や思想についてのレポートや卒業論文を書くときには是非活用して欲しい。また挿絵を眺めるだけでも、当時の様子を知ることができるので、頁をめくるだけでも楽しい資料である。</p>